

## 第2学年 国語科学習指導案

### 1 単元 お話を楽しもう「スーホの白い馬」 (おおつか ゆうぞう 作)

#### 2 学習指導の考え方

**このような子どもたちだから**

本学年の子どもたちは、「ふきのとう」「スイミー」「お手紙」の学習で、挿絵や登場人物がしたことに着目しあらすじをとらえる学習を行ってきた。また、場面の様子について想像を広げたり、人物の気持ちを読み取ったりする際には、言葉を比べたり、叙述をつないだりしながら自分なりの読みをつくってきた。読みアイテムへの意識は高く、活用しようとしているが、そのことが読みにつながっている子どもはまだ少ない。

**このような教材で**

本教材「スーホの白い馬」は、たくましく心の優しいスーホと、そのスーホに大切に育てられた白馬との心の結びつきが描かれている物語である。冒頭部分は、物語の前書きとなっており、結びの4行で閉じられている。物語の中心は、馬頭琴という楽器の由来の話であり、文章を通して、時を表す言葉に着目すると、出来事の順序や場面の移り変わりをつかむことができる。また、スーホと白馬がお互いを思い合う気持ちが、場面を追うごとに強くなっており、心の結びつきの変化がわかりやすい。

こうした特質を踏まえて、本教材で習得・活用する読みの技能を次のように考えた。

(活) 挿絵と言葉をつないで読む  
 おおかみと戦う白馬の表情と「ひっしにふせぐ」という言葉をつないで白馬の様子を読む。

(習) 複合語を読む  
 「だきかかえて」「はねおきて」からスーホの白馬を思う気持ちの強さを読む

(習) 比喩表現を読む  
 「風のように」「とぶように」「たきのように」から場面の様子について想像を広げながら読む。

(習) 似たことばと比べて読む  
 「日は一日一日と」「月日はとぶように」から月日の経過の違いを考え、スーホと白馬のつながりを読む。

(習) 読点を読む  
 「走って、走って、走りつづけて」から白馬が傷つきながらも一生懸命スーホのもとに帰ってきたことを読む。

(習) 会話文を読む  
 「これから先～」から白馬をより一層大切に思うスーホの気持ちを読む。

(習) 前の場面とつないで読む  
 白馬が死んでもずっと一緒にいたいと思うスーホの気持ちを学ぶ。

**このような指導・支援を行いながら**

○ **つかむ段階**

- ・ 題名の「の」に着目させることで、スーホにとって白馬が大切なものであるということをとらえることができるようにする。
- ・ 時を表す言葉や挿絵に着目させ、スーホの行動に立ち止まらせ、物語のあらすじをつかませる。
- ・ スーホ、白い馬、馬頭琴の3つのキーワードをもとに、読みのめあての答えを書きまとめさせる。一人ひとりがまとめた読みをカルテで把握し、考えの重なりや違いを明らかにした上で、学習計画を立てる。

○ **深める段階**

- ・ 動作化させたり、似ている言葉と比べさせたりすることで、複合語の表わす様子や、そこから分かるスーホの気持ちや白馬の様子を読み取ることができるようにする。
- ・ 挿絵や掲示物をもとに、前の場面とつないで考えることで、スーホと白馬の心のつながりや、その変化を読み取ることができるようにする。

○ **まとめる段階**

- ・ 読み確かめてきたことを、板書や掲示物を見ながら振り返り、友達と交流することで、自分の考えを付加修正することができるようにする。
- ・ 本単元で使った読みアイテム、新しく出てきた読みアイテムを確認し、読みアイテムとして整理し、意識化を図る。

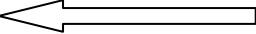
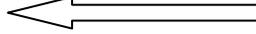
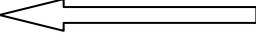
**このような目標を設定して学習指導を展開します**

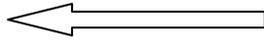
- スーホが白馬を大切に思う気持ちや、白馬のスーホへの思いを読みとり、死んでもなお一緒にいたいと願うほど深い心の結びつきをとらえることができる。
- 「挿絵とことばをつないで読む」読みアイテムを活用しながら場面の様子を読み、「会話文を読む、複合語を読む」読みアイテムを習得することができる。

3 学習指導計画と評価規準（全14時間）

		評価規準	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 読む能力
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーホの白い馬の内容の大体をとらえたり、自分なりに想像を膨らませたり、声に出したりしながら楽しんで読もうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 場面が時間の順序によってつながっていることに気づき、内容の大体を読んでいる。</li> <li>・ あらすじを押さえながら場面を想像豊かに思い描いて読んでいる。</li> <li>・ 場面の様子について読み取ったことを、理由を述べながら話し合い想像豊かに読んでいる。</li> </ul>
過程	配時	主な学習活動と内容 (◎は見通す活動と見直す活動)	単位時間ごとの具体的な評価規準 数字は見通す活動・見直す活動での評価規準 ( )は評価方法	
つかむ	1 / 14  (3組本持)	1 題名「スーホの白い馬」について話し合う。 ◎ 今までの物語文の学習を振り返り、題名を冒頭とつなぎながら見通しをもつ。 2 題名をもとに、冒頭の読みを話し合う。 (1) 冒頭の文や挿絵などから、モンゴルの草原の暮らしについて知る。 (2) 馬頭琴の形を知り、なぜこんな形をしているのかという疑問をもつ。 3 題名と冒頭から、読みのめあてをつくる。 ◎ どこを、どんな読みアイテムで読んだら読みのめあてを作ることができたのかについて話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">             ①馬頭琴という楽器ができたわけには、どんなお話があったのだろう。              ②スーホと白い馬はどんなかんげいなのだろう。           </div>	←	<b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b> 挿絵の広い草原や生活の様子と叙述をつないで、羊や牛・馬と人間の生活とのかかわりを読む。  ① スーホと白い馬、馬頭琴のつながりに目を向けた疑問をもとに読みのめあてをつくっている。(プリント)
	2 ・ 3 ・ 4 / 14	1 読みのめあてに沿って全文を読み通す。 ◎ 全文を読み、場面構成をとらえる。 2 新出漢字の読み・書きや難語句を確かめる。 3 場面ごとに、スーホの言動をもとに、あらすじを書く。 (1) 挿絵を順序よく並べ、おおよその筋をつかむ。 (2) いつ、スーホが何をしたかをまとめる。 3 読みのめあての答えを書く。 ◎ スーホ、白馬、馬頭琴の言葉を入れて、読みのめあて②の答えを書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">             スーホは、白馬のことをとても大切に思っていたし、大好きだった。だから、死んでも一緒にいたいと思って、馬頭琴を作った。           </div>	←	<b>(活) 時を表す言葉を読む</b> 「むかし・ある日・あるばん・ある年の春・そのばん」などの言葉をもとに、場面の変化を読む。 <b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b> 挿絵を順序よくならべ、おおまかな筋を読む。  ② スーホがしたことを中心に、時間の順序に沿って、あらすじをつかんでいる。(プリント)

	5 / 14	<p>5 スーホと白馬の関係を読み確かめていく計画を立てる。</p> <p>◎ 読みのめあての答えの根拠となる叙述に線を引く。</p> <p>(1) 読みのめあての答えを話し合う。</p> <p>◎ 曖昧な点、不十分な点を読み確かめていく計画を立てる。</p>		<p>③ 大体のあらすじをもとに、これから読み確かめていくことを、具体的につかんでいる。(プリント)</p>
深める	6 / 14	<p>1 子馬を抱きかかえて帰ってきてから、心をこめて世話をしたスーホの様子や気持ちを読み確かめていくことを確認する。</p> <p>◎ スーホが白馬を拾って育てた様子の叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 子馬を連れて帰ってきたときのスーホの様子や気持ちを考える。</p> <p>(1) 「だきかかえて」を中心に、スーホが白馬を思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>3 スーホが心をこめて子馬を世話した様子を話し合う。</p> <p>(1) 「日は一日一日と」を中心に、スーホがどのように世話をしたのかを読み確かめる。</p> <p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>	<p>② スーホと白馬の結びつきを、読みのアイテムを使いながら読もうとしている。(プリント)</p>	<p><b>(習) 複合語を読む</b> 「だきかかえて」からスーホが白馬を大切に思っていることを読む。</p> <p><b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b> 「だきかかえて」という言葉と挿絵をつないで、スーホの白馬に対する愛情を読む。</p> <p>④ スーホが白馬を大切に育ててきた様子や気持ちをふりかえり、家の人への手紙として書きまとめている。(プリント)</p>
	7 / 14  (2組本時)	<p>1 おおかみとたかかった白馬やスーホの様子や気持ちを読み確かめていくことを確認する。</p> <p>◎ スーホの様子や言動の叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 おおかみの前に立ちふさがって必死にふせいだ白馬の様子について話し合う。</p> <p>3 白馬のそばにかけより話しかけたときのスーホの気持ちを考える。</p> <p>(1) 「これから先、どんなときでも、ぼくはおまえといっしょだよ」を中心に、スーホが白馬を思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>	<p>⑤ スーホが白馬を大切に育ててきた様子や気持ちをふりかえり、家の人への手紙として書きまとめている。(プリント)</p>	<p><b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b> 挿絵からわかる白馬の様子と白馬に関する叙述をつないで、白馬が羊を命をかけて守ろうとする姿を読む。</p> <p><b>(習) 会話文を読む</b> スーホが白馬に対して話す様子から、白馬への優しさを読む。</p> <p><b>(習) 場面と場面をつないで読む</b> 白馬の行動とスーホが心をこめて世話する様子とをつないで、白馬の気持ちを読む。</p> <p>⑤ 大好きな白馬とずっと一緒にいたいと思うスーホの様子や気持ちを振り返り、家の人への手紙として書きまとめている。(プリント)</p>

<p>8 / 14</p>	<p>1 白馬を取り上げられたスーホの様子や気持ちを読み確かめていくことを確認する。</p> <p>◎ スーホの様子や言動の叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 白馬を取り上げられたスーホの様子や気持ちについて考える。</p> <p>(1) 「馬を売りに来たものではありません」「白馬をとられたかなしみはどうしてもきえませんが」「白馬はどうしているだろう」を中心に、白馬を思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(活) 挿絵と言葉をつないで読む</b></p> <p><b>(活) 会話文を読む</b></p> <p>挿絵ととのさまに対するスーホの会話から、白馬への愛情の深さを読む。</p> <p>⑥ 大好きな白馬を取り上げられ、引き離されたスーホの悲しみを振り返り、家の人への手紙として書きまとめている。(プリント)</p>
<p>9 / 14</p>	<p>1 スーホのもとへ帰ってきた白馬の様子と気持ちを読み確かめていくことを確認する。</p> <p>◎ さかもりの最中に駆け出し、矢が刺さっても走り続けた白馬の様子の叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 スーホのもとへ帰ってきた白馬の様子について話し合う。</p> <p>(1) 「はね上がりました」「風のようにかけ出しました。」「それでも白馬は走りつづけました」を中心に、白馬がスーホを思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>3 矢がささっても走り続ける白馬の気持ちについて考える。</p> <p>(1) 「走って、走って、走り続けて」から、白馬がスーホを思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(習) 複合語を読む・比喻表現を読む</b></p> <p>「おそろしいいきおいではねあがる」「風のようにかけ出す」「走りつづける」という言葉から白馬のスーホへの気持ちを読む。</p> <p><b>(習) 読点を読む</b></p> <p>「走って、走って、走りつづけて」から白馬が傷つきながらも一生懸命スーホのもとへ帰ってきたことを読む。</p> <p>⑦ スーホのもとへ帰りたいという白馬の様子や気持ちを振り返り、家の人への手紙として書きまとめている。(プリント)</p>
<p>10 / 14</p>	<p>1 白馬に刺さっている矢を抜くスーホの様子や気持ちを読み確かめる。</p> <p>◎ 白馬の矢を抜くスーホの様子の叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 ひどい傷を受けている白馬に対するスーホの様子や気持ちについて考える。</p> <p>(1) 「はね起きて」「歯を食いしばりながら」「白馬、ぼくの白馬、死なないでくれ」を中心に、スーホが白馬を思う気持ちを読み確かめる。</p>		<p><b>(活) 言葉ははずして読む</b></p> <p>「はね起きて」「歯をくいしばりながら」という言葉ははずし、スーホが心配している様子やくやしさを読む。</p> <p><b>(活) 会話文を読む</b></p> <p>「白馬、ぼくの白馬、死なないでくれ。」という言葉から、兄弟に語りかけるようなスーホの気持ちを読む。</p> <p><b>(習) 言葉の順序を読む</b></p> <p>弱りながらも必死に走り続ける白馬の様子を読む。</p>

	<p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p>⑧ スーホと白馬の心の結びつきを振り返り、家の人への手紙として書きまとめている。(発言内容・プリント)</p>
11 / 14	<p>1 馬頭琴を組み立てたとき、スーホの白馬に対する気持ち読み確かめる。</p> <p>◎ スーホが夢を見て楽器を組み立てていく叙述とその読み方について話し合う。</p> <p>2 スーホのかなしさとくやしきについて考える。</p> <p>(1) 「むちゅうで組み立てていきました」「どこへ行くときも、この馬頭琴を持って行きました」を中心に、スーホの白馬を思う気持ちを読み確かめる。</p> <p>3 スーホが馬頭琴をつくったわけを考える。</p> <p>◎ 本時学習で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>		<p><b>(習) 前の場面とつないで読む</b></p> <p>白馬が死んでもずっと一緒にいたいと思うスーホの気持ちを読む。</p> <p>⑨ 馬頭琴ができた由来に、スーホと白馬の心の結びつきがあったことを振り返り、家の人への手紙として書きまとめている。(発言内容・プリント)</p>
まとめる 12 / 14	<p>1 これまでの読みを振り返り、モンゴルに馬頭琴という楽器ができたわけを書きまとめる。</p> <p>◎ 学習を振り返り、家の人に伝えたいところについて話し合う。</p> <p>2 二人の関係について考える。</p> <p>(1) モンゴルに馬頭琴という楽器ができたわけを書きまとめる。</p> <p>(2) スーホと白馬の関係を考える。</p> <p>3 学習を振り返り、読み方のまとめをする。</p> <p>◎ 本単元で詳しくなったことを交流し、読み深まった内容や使った読みアイテムを確かめる。</p>	<p>③ 今まで読み取ってきたことはどんなことかまとめている。(プリント)</p>	<p>⑩ 「スーホと白い馬」のあらすじやスーホと白馬の心の結びつきをもとに、順序よく読みのまとめを書いている。(プリント)</p>
13 / 14	<p>1 好きな本を読んで、友達に簡単なあらすじを紹介する。</p> <p>◎ これまでに読んだ本の中で、友達に紹介したい本を選んで紹介文を書き、発表することを知る。</p> <p>(1) 人物がしたことを短くまとめて順番につなげ、紹介文を書く。</p> <p>(2) 好きなところやおもしろいところを書く。</p> <p>◎ 友達にわかりやすく紹介する。</p>		

5 本時の目標

- おおかみとたたかった白馬に対し、スーホが兄弟に言うように話しかける様子や気持ちを読み取り、白馬への思いの深まりを読み取ることができる。
- 「挿絵と言葉をつないで読む」読みアイテムを活用し、「会話文を読む・場面と場面をつないで読む」読みアイテムを習得することができる。

6 本時の授業仮説

**こんな子どもたちに**

前時まで子どもたちは、スーホが小さな白い馬を大切に抱きかかえて帰り、一日一日と心を込めて世話をする様子や子馬への思いについて読み取ってきている。

スーホの白馬に対する思いが深まっていることにおおかみ気付いてはいるが、なぜそのように思いが深まっているか、明確な根拠をもてない子どももみられる。

**こんな手だてをとれば**

**【見通す活動】**

- ・ 確かめる文や言葉、疑問点を明確にするともに、中心となる叙述にサイドラインをひかせる。
- ・ 二人組で、お互いの叙述を交流させる。
- ・ どのような読みアイテムが使えるのか、掲示しているカードをもとに見当をつけさせる。

**【見直す活動】**

- ・ 読み確かめるために、どんな文や言葉に着目したのか板書をもとに振り返る。
- ・ どんな読みアイテムで読み確かめたら、どのようなことがわかったのか叙述をつなぎながら振り返る。
- ・ 話型を提示して、内容面・技能面の両面からまとめさせる。

**こうなるだろう**

読み確かめる疑問と叙述を明確にし、どのような読みアイテムが使えるそう意識することで、スーホの言動に着目し、スーホと白馬の心の結びつきに気付くであろう。

(活) さし絵と言葉をつないで読む

**【見直す活動】**

どんな読みアイテムをもとにどのように読んでいったのかを見直せば、スーホの白馬への思いの深まりが分かり、目的に応じた読みアイテムの使い方を身に付けられるだろう。

(習) 会話文を読む  
(習) 場面と場面をつないで読む

7 準備

- 教師…前時までの学習で習得した読みアイテム (掲示物)、前時までの学習の足跡を示した掲示物、挿絵
- 子ども…学習プリント

8 板書計画

**お話を楽しもう**  
スーホの白い馬 おおつか ゆうぞう 作

めあて  
スーホが兄弟に言うように話しかけるようすや  
気持ちをおもしろく読もう。

あるほんのこと  
ねむつていたスーホは、  
はつと目をさました。  
スーホは、**はねおき**と、  
外に **こぼし**  
ひつじのかごいのそばに  
**かけつけ**ました  
とってもしんばい

さし絵

スーホは、おおかみをおいはらって  
白馬のそばにかけよりました。  
スーホはあせまみれになった  
白馬の体をなでながら  
兄弟に言うように話しかけました。  
「よくやってくれたね、白馬。  
本当にありがとう。」  
これから先、**どんなときも**  
ぼくはおままと**いつし**だよ。

今日学習  
あるほんのこと、スーホは、はつと目をさますと、おおかみとたたかう白馬のところにかけつけたんだよ。その白馬はスーホの大切なひつじを守ったんだよ。兄弟に言うように話したわけはね、スーホの大事な羊を守って守ってくれた白馬を本当の兄弟のように思ったからだよ。

月日は飛ぶように過ぎていきました。

会話文を読む  
かぞくのようにおもう  
白馬へのスーホの  
やさしさ

場面と場面をつないで読む  
おおかみの前に  
立ちふさがって、  
ひつじにふせいでいました。

さし絵と言葉をつないで読む  
たべられるとまる  
生活できない  
心をこめてせわをし  
てもらった

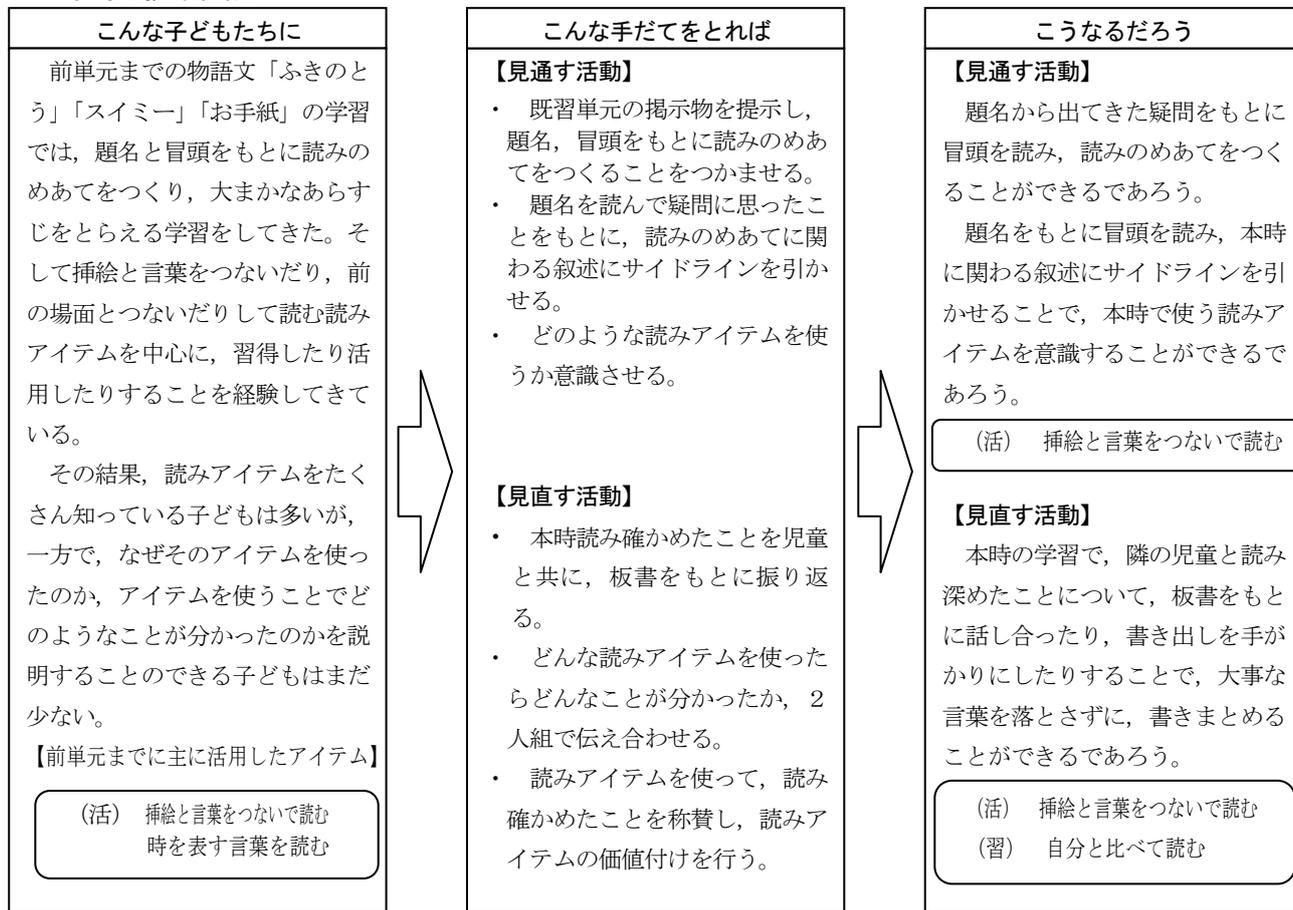
9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめる。</p> <p>(1) 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 既習学習を想起させ、本時への意欲を高める。</p> <p>○ 学習計画をもとに、本時場面での疑問を確認し、本時学習に位置づける。</p>
<p>めあて</p> <p>スーホが、兄弟に言うように話しかけるようすや気持ちをくわしく読もう。</p>	
<p>(2) 見通す活動を行う。</p>	<p>○ 読み確かめる疑問を本時のどこで確かめるのか確認する。</p> <p>○ 本時で確かめる叙述をみつけさせ、サイドラインをひかせる。</p> <p>○ サイドラインをひいたところを二人組で交流させ、お互いの叙述を確認させる。</p> <p>○ どんな読みのアイテムがつかえそうか見当をつけさせる。</p> <p>○ 本時の学習の進め方を示し、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>★ さし絵と言葉をつないで読む</p> </div>
<p><b>【見通す活動】</b></p> <p>読み確かめる疑問をもとにサイドラインをひき、本時の中心となる叙述について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーホの白馬への思いを確かめるためにスーホが話している文を確かめたい。</li> <li>・ さし絵と言葉をつないで読む読みアイテムが使えそう。</li> </ul> </div>	<p>○ 本時で確かめることを意識させながら、音読させる。</p>
<p>(3) 本時場面を音読する。</p>	<p>★ さし絵と言葉をつないで読む</p> <p>挿絵をもとに、羊をおおかみから防ぐ白馬の様子に着目させ、白馬のスーホへの思いについて考えさせる。</p>
<p>2 スーホや白馬の様子や気持ちについて話し合う。</p>	<p>☆ 場面と場面をつないで読む</p> <p>なぜ一生懸命たたかったのかを問い返すことで、白馬のスーホへの気持ちを想像させる。</p>
<p>(1) スーホがはねおきて外にとび出しかけつけた様子からわかる、スーホの白馬への思いについて話し合う。</p>	<p>☆ 会話を読む</p> <p>スーホの行動をもとに動作化させ、音読させながら、兄弟に語るように優しく白馬に話しかけるスーホの気持ちについて考えさせる。</p>
<p>(2) おおかみとたたかう白馬の様子について話し合う。</p> <p>○ スーホの羊をおおかみから一生懸命防いでいる。</p> <p>○ 心をこめて世話をしてもらったスーホのために闘っている。</p>	<p>○ 使った読みアイテムと確かになった読みを構造的に板書に位置づけておく。</p> <p>○ 板書をもとに発表させ、読み確かめるために使った読みアイテムを自覚できるようにする。</p> <p>○ 内容面、技能面の両面からまとめさせるために、「(どんな読みアイテム)を使ったら、(どんなこと)がわかった。」という話型を提示し発表させる。</p> <p>○ 読みアイテムを使って読み確かめられたことを称賛し、読みアイテムの価値付けを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>☆ 会話を読む</p> <p>☆ 場面と場面をつないで読む</p> </div>
<p>(3) スーホが白馬に兄弟に言うように話しかける様子から、スーホの白馬に対する気持ちの深まりについて話し合う。</p> <p>○ スーホを家族のように思っている。</p> <p>○ 白馬へのスーホの優しさ。</p>	<p>○ 本時で詳しくなったことを手紙形式で家の人宛に学習のまとめとして書かせる。</p> <p>○ 次時の学習への見通しをもたせる。</p>
<p>3 本時学習を振り返り、まとめる。</p>	
<p>(1) 見直す活動を行う。</p>	
<p><b>【見直す活動】</b></p> <p>話し合いを通して確かになったスーホの白馬への思いの深まりについて、使った読みアイテムをはっきりさせながら話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会話を読むアイテムを使ったら、スーホの白馬への優しさがわかった。</li> <li>・ さし絵と言葉をつないで読むアイテムを使ったら命をかけて羊を守る白馬の様子がわかった。</li> </ul> </div>	
<p>(2) 話し合ったことをもとに書きまとめる。</p>	

5 本時の目標

- 物語の舞台となるモンゴルの暮らしについて読み取り、題名の白馬と、冒頭の馬頭琴とのつながりに目をむけて、読みのめあてをつくることができる。
- 「挿絵と言葉をつないで読む」読みアイテムを活用しながら、「自分と比べて読む」読みアイテムを習得することができる。

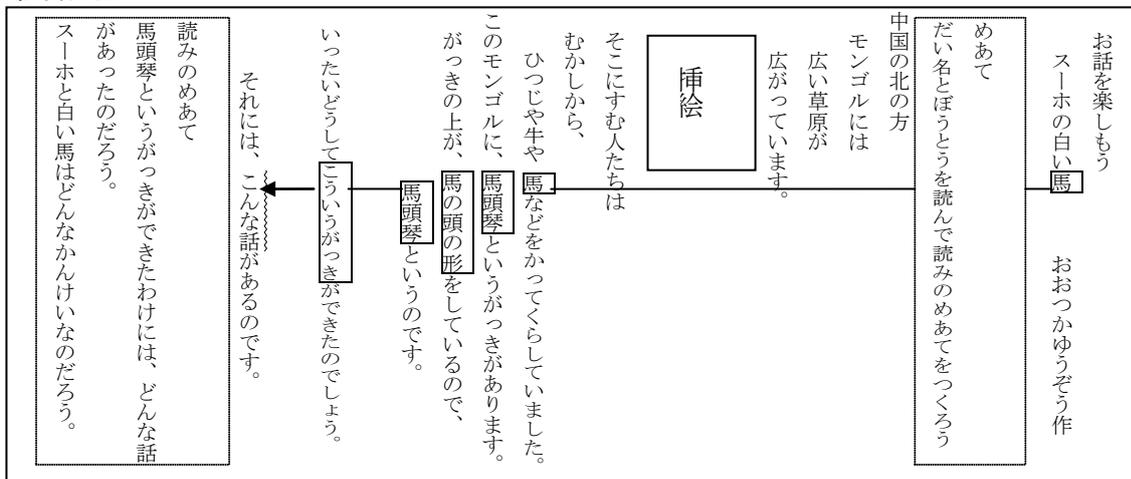
6 本時の授業仮説



7 準備

- 教師…挿絵、前単元の読みアイテムを活用した掲示物
- 子ども…学習プリント

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	指導・支援(☆は習得, ★は活用)
<p>1 本時の学習のめあてを確かめ、学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="159 315 1350 394" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて だい名とぼうとうを読んで、読みのめあてをつくろう。</p> </div> <p>(2) 見通す活動を行う。</p> <div data-bbox="153 432 751 745" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見通す活動】</b> 前単元でどのように学習を進めたら読みのめあてをつくることができたかを想起する。</p> <div data-bbox="159 568 708 734" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 題名をもとに冒頭を読んだら、読みのめあてをつくることができる。</li> <li>・ ハテナが分かるところに線をひいたらいい。</li> </ul> </div> </div> <p>2 題名と冒頭について話し合う。</p> <p>(1) 「スーホの白い馬」と「スーホと白い馬」を比べて読む。</p> <div data-bbox="159 846 762 936" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「スーホの白い馬」と読んだら、スーホが白い馬をととても大切にしていることが分かる。</li> </ul> </div> <p>(2) 冒頭を音読する。</p> <p>(3) どこで、何が出てきたお話なのかについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ モンゴルの広い草原でのお話。</li> <li>○ 羊や牛や馬、馬頭琴が出てくること。</li> </ul> <p>(4) 挿絵と叙述からモンゴルの草原の暮らしについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広い草原に住むモンゴルの人たちにとって、羊や牛や馬を飼うことは大切な仕事であること。</li> <li>○ 自分たちが生きるために動物を飼っている。</li> </ul> <p>(5) 挿絵と叙述から馬頭琴のことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽器の一番上が馬の頭の形をしている。</li> <li>○ これからの話と関係がありそう。</li> </ul> <p>3 本時学習を振り返り、話し合ったことをもとに、まとめる。</p> <p>(1) 「読みのめあて」をつくる。</p> <div data-bbox="159 1536 775 1653" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>馬頭琴という楽器ができたわけには、どんなお話があったのだろう。 スーホと白い馬はどんなかんけいなのだろう。</p> </div> <p>(2) 見直す活動を行う。</p> <div data-bbox="159 1693 762 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【見直す活動】</b> 板書をもとに、わかったことや習得した読みアイテムを隣の友だちと交流する。</p> <div data-bbox="159 1816 746 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挿絵と言葉をつないで読んだら、モンゴルに住む人たちの暮らしが分かった。</li> <li>・ 自分と比べて読んだら、モンゴルの人たちは生きるためにいろんな動物を飼っていることが分かった。</li> </ul> </div> </div>	<p>○ 既習の単元名を想起させ、本単元の学習の構えをつくる。</p> <div data-bbox="810 432 1401 757" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習単元の掲示物を提示し、題名、冒頭をもとに読みのめあてをつくることをつかませる。</li> <li>○ 題名を読んで疑問に思ったことをもとに、読みのめあてに関わる叙述にサイドラインを引かせる。</li> <li>○ どのような読みアイテムを使うか意識させる。</li> </ul> <div data-bbox="852 685 1193 741" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>★ 挿絵と言葉をつないで読む</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題名をもとに物語について想起させ、話への関心をもたせる。</li> <li>○ 題名の「白い馬」と冒頭に何度も使われている「馬」をおさえる。</li> <li>○ 冒頭の叙述に着目させるために、題名を意識させ音読させる。</li> </ul> <div data-bbox="794 1010 1401 1133" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>★ 挿絵と言葉をつないで読む 挿絵や地図を掲示し、モンゴルに住む人たちの暮らしぶりについて考えさせる。</p> </div> <div data-bbox="794 1144 1401 1290" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆ 自分と比べて読む モンゴルの人たちが生きるために飼っている動物と自分の生活を比べ、どのような違いがあるか考えさせる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 馬頭琴を提示し、楽器の特徴から、どうしてこのような形の楽器ができたか興味関心を高める。</li> <li>○ スーホも白い馬もまだ登場していないことから、「馬頭琴ができた由来」と、「スーホと白い馬の関係性」について関心をもたせる。</li> <li>○ 題名と冒頭で読みつないできた「馬」について、読んでいきたいことをつかませる。</li> </ul> <div data-bbox="810 1693 1401 2049" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時読み確かめたことを児童と共に、板書をもとに振り返る。</li> <li>○ どんな読みアイテムを使ったらどんなことが分かったか、2人組で伝え合わせる。</li> <li>○ 読みアイテムを使って、読み確かめたことを称賛し、読みアイテムの価値付けを行う。</li> </ul> <div data-bbox="852 1962 1193 2040" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p>★ 挿絵と言葉をつないで読む ☆ 自分と比べて読む</p> </div> </div>